

果樹版

農林水産省登録 第18750号

広く守り、強く攻める!

—すべては実りのために。—

総合殺菌剤

石原

フロンサイド® SC

®は登録商標

白紋羽病をはじめ、広範囲の病害から大切な果樹を守ります。

■適用病害虫と使用方法（果樹抜粋）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 すす点病 すす斑病 褐斑病	2000～ 2500	200～700ℓ/10a	収穫45日前まで	1回	散布	2回以内 (散布または 落葉に散布は1回以内、 土壌灌注は1回以内)
	黒星病	1000～ 2000	100～200ℓ/10a	落葉後～ 展葉期まで		落葉に 散布	
	輪紋病 モニリア病	2000	200～700ℓ/10a	収穫45日前まで		散布	
	白紋羽病 紫紋羽病	500 1000	50～100ℓ/樹 100～200ℓ/樹		1回	土壌灌注	
	りんご(苗木)	白紋羽病 紫紋羽病	500		— 25～50ℓ/樹	植付時 植付後 但し、収穫開始 1年前まで	
なし	黒斑病 黒星病	2000～ 2500	200～700ℓ/10a	収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回以内、 土壌灌注は1回以内)
	輪紋病	2000	50～100ℓ/樹 100～200ℓ/樹		1回	土壌灌注	
	白紋羽病	500 1000					
もも	灰星病 ホモブシス腐敗病	2000	200～700ℓ/10a	収穫7日前まで	1回	散布	
	白紋羽病	500 1000	50～100ℓ/樹 100～200ℓ/樹	収穫30日前まで	1回	土壌灌注	
うめ	黒星病 灰色かび病	2000	200～700ℓ/10a	発芽期まで 但し、収穫60日 前まで	1回	散布	
	白紋羽病	500	50～100ℓ/樹	収穫後から 開花前まで 但し、収穫60日 前まで	1回	土壌灌注	
ぶどう	晩腐病 黒とう病 べと病 灰色かび病 枝膨病	2000	200～700ℓ/10a	開花直前～ 落弁期 但し、収穫60日 前まで	1回	散布	
	白紋羽病	500 1000	50～100ℓ/樹 100～200ℓ/樹	収穫21日前まで	1回	土壌灌注	
びわ	灰斑病	2000	200～700ℓ/10a	収穫7日前まで	1回	散布	
	白紋羽病	500 1000	50～100ℓ/樹 100～200ℓ/樹	収穫後から 開花前まで	1回	土壌灌注	
キウイフルーツ	灰色かび病 果実軟腐病	2000	200～700ℓ/10a	収穫30日前まで	1回	散布	
キウイフルーツ (苗木)	白紋羽病	500	100ℓ/樹 —		1回	土壌灌注 1時間 苗木浸漬	
かんきつ	そうか病 灰色かび病	2000～ 2500	200～700ℓ/10a	収穫30日前まで	1回	散布	
	黒点病 ミカンハダニ ミカンサビダニ チャノホコリダニ	2000					
かき	落葉病 黒星落葉病 炭疽病 灰色かび病			収穫45日前まで			
ネクタリン	白紋羽病	1000		100～200ℓ/樹		収穫30日前まで	
おうとう いちじく		500	50～100ℓ/樹	収穫21日前まで			
ブルーベリー	白紋羽病 根腐疫病						土壌灌注
小粒核果類 (うめを除く)	白紋羽病			収穫後から 開花前まで 但し、収穫60日 前まで			

■使用上の注意事項（一部抜粋）



- 使用直前に容器をよく振ってください。
 - 本剤は保護効果主体の薬剤であり、病原菌に感染した後の散布では効果が不十分な場合があるので散布時期に注意してください。
 - かんきつに使用する場合は、次の事項に注意してください。
 - ・レモンには薬害を生じるので使用をさけてください。
 - ・病害とミカンハダニの同時防除に使用する場合は、かけ残しのないようにていねいに散布してください。
 - なしに使用する場合は、幸水等の赤なしの幼木や樹勢の劣る樹では、新葉に薬害が発生するおそれがあるので注意してください。
 - ぶどうに使用する場合は、葉や果実に薬害が発生するおそれがあるので、使用時期を厳守してください。なお、ネオマスカットは特に薬害を生じやすいので使用をさけてください。
 - 本剤と他剤との混用は、薬害を生じやすいので注意してください。特に、なし、ぶどう、ももおよびうめでは十分注意してください。なお、うめについては発芽期までの使用に留めてください。
 - きゅうり、レタス等には薬害を生じるおそれがあるので、周辺にそれらの作物がある場合にはかからないように注意して散布してください。
 - 本剤を土壌灌注する場合は、**ラベルの注意事項をよく読んでください。**
 - 落葉に散布で使用する場合は、ほ場内で落葉に対して均一に散布してください。
 - 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - 本剤は皮膚感作性を有するため、皮膚かぶれ等を生じることがあるので、次の点に注意してください。
 1. かぶれやすい体質の人および本剤または他剤においてかぶれた経験のある人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触はさけてください。
 2. 薬液調製時および使用の際は帽子、保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用するとともに保護クリームを使用してください。
 3. 降雨時または樹木が濡れている場合には作業を行わないでください。
 4. 剪定、施肥、摘果、除草、袋かけなどの管理作業をすませてから使用してください。
 5. 使用後の入園はできる限り期間をおいてください。特に摘果、袋かけのような作業を行う果樹では、少なくとも7～10日間の期間をあけてください。
 6. 使用後の入園の際も、帽子、保護メガネ、農業用マスク、手袋、長スポン・長袖の作業衣などを着用するとともに、保護クリームを使用してください。
 7. 使用した後及び摘果等のため使用後入園し作業した後は、直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
 8. 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
 9. 施設内では使用しないでください。
 10. 高温・多湿時に長時間の使用および作業はさけてください。
 11. 苗床で本剤を使用し、その苗を採苗、定植する場合には、必ず手袋を着用して作業を行い、直接苗に触れないよう注意してください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
 - 本剤は眼および皮膚に対して刺激性があるので、薬剤が眼に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 魚毒性等：**
- ・水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
 - ・水産動植物（甲殻類・藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
 - ・浸漬後の薬液は河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ※空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。

